

令和3年度第2回 名張市地域公共交通会議事業推進部会 議事概要

日 時 令和3年11月25日（木）

午後1時30分より

場 所 名張市役所 庁議室

出席者：（敬称略）

（1）委員

中平 恭之 （近畿大学工業高等専門学校 教授）
豊永 育子 （公益社団法人 三重県バス協会）
池田 守 （名張市地域公共交通会議 委員）
澤田 恭子 （名張市地域公共交通会議 委員）
喜多村 明美 （名張市老人クラブ連合会 女性部副会長）
宮崎 正秀 （名張市地域環境部 部長）

（2）事務局

都市整備部都市計画室3名

1. 開会

2. 議事

（1）名張市地域公共交通網形成計画の成果指標について

（事務局より資料をもとに説明）

部会長 ありがとうございます。ただ今ご説明いただいた件について、何かご意見ご質問はございますか。

委 員 最後のPDCAサイクルというのがわかりません。

事務局 PDCA サイクルというのは、Plan、Do、Check、Action の頭文字を取っています。まずは「Plan」計画を立てて「Do」実行する、それに対してどうだったかを「Check」し、チェックした結果をまた次の行動「Action」に繋げるのがPDCAサイクルと言います。

部会長 その他ございますか。また最後にまとめてご意見を聞かせていただく場を設けますので、次の議事に移りたいと思います。

（2）名張市の地域公共交通に関する市民アンケート結果について

（事務局より資料をもとに説明）

部会長 ありがとうございます。少しボリュームが大きいですが、ご意見ございましたら。

委 員 無作為で抽出されたということですが、回答者の年齢を見るとかなり高齢の方に偏っていると思いますが、これは人口が高齢化しているからなのか、公共交通の関心の高さによるものでしょうか。

事務局 アンケートの抽出をする際に年齢構成等も考慮したうえで抽出はしておりますので、それとの比較はしなければいけませんが、やはり高齢者の方の回答比率が若干高かったと思います。

部会長 こういうアンケートをすると高齢の方の方が回答していただけるので、高齢者の回答比率がおおよそこういうアンケートだと高くなります。特に生産年齢の方たちは回答が少ないこ

とが多いです。皆さんお忙しいので。僕はこういうことをやるのでアンケートがあったら必ず回答するようにしていますが、周りの教員を見ても回答する方はほぼいません。公共交通に関心がある年代の方が特に回答が多かったのかなと思いますが、そのあたりも精査しなければいけないところだと思います。

委 員 ただ、本当は生産年齢人口の方たちからの回答も非常に大事だと思います。

部会長 そういうところで見ると、色んなクロスをされていますが、あまり意味のないクロスも入っているなと思いますので、そういうところを年齢や居住地域で見るとわかると思うので、そのあたりはこの結果は速報版だと思うので、注意しながらいいものに結果はなっていくかなと思いますが。その他ございますか。単純な集計をしているだけなので、これだけで計画を立案というのは難しいと思います。もう少しどういったところに問題点があるのかといったところを、目的をもって見ていかないとよくわからないクロスが出てきたり分析結果が出てくると思いますので、そのあたりは計画を作っていく中で細かいところは見ていかないといけないと思いますので、その時に細かい結果が出てくるのかなと思います。ただ、図が見にくいかなというところがたくさんありましてアンケートの順番ごとに出すのではなく、協調すべきところは多いところを上にとってくるなど色々なやり方があると思いますので、もう少し見やすく工夫された方がいいのかなと思います。これも計画を立てていく中でこうした方が見やすい、こういったところに問題点があるというので重点的に見ないといけないことが出てくると思うので、そういう時に順序を並び替えたり、クロスを工夫してやったりができてくるのかなと思います。ほかに何かございますか。特に皆さんの住まれている地域だったり、ここはもう少し値が大きいのではないかなど気になるところもあればぜひ言っていただけなら、細かい差異もしっかり調べないといけないと思いますので。

委 員 アンケートの母数の取り方ですが、無作為抽出なのでそれぞれの年齢ごとに一定の母数で抽出していると思いますが、回答率でみると高齢の方は高く若い方は少なくなっているのかういった結果になっていると思います。市民アンケートでは、若い人の回答が少ないのがわかっているのか、母数を取る時に少し増して取って若い方の意見を反映するといった方法も取っていますので、今回は無理ですが次回に、本当に若い方の回答率が低いので、そういうやり方も考慮できるかと思います。それから、事務局レベルのものなのでクロスはいっぱい取ってくれていますが、先生がおっしゃっていただいたように本当に必要なクロスは年齢、地域など計画に反映すべきところは分析してきっちりこういうアンケート結果だからこういう計画に反映するといったものにしていただけたらありがたいと思います。

部会長 ありがとうございます。計画を作っていく中でこのアンケート結果はたくさん出てくると思いますので、またわからないことがありましたらその時にご質問いただいてもいいですし、疑問点があればその際に質問していただいて、計画というのは皆さんで作っていくものですから、この際積極的にご意見をいただければと思います。またボリュームが多いので持ち帰って見ていただき、何かあれば事務局に問い合わせいただければと思います。それでは、次の議事に移ります。

(3) 名張市地域公共交通計画(案)の検討について

(事務局より資料をもとに説明)

部会長 ありがとうございます。ただ今ご説明いただいたことに関してご意見ご質問等ございますか。

委員 全体的なことで、前々から思っていたことですが、人口減少は名張市に限らず全国的な課題だと思います。それでこれだけ地域の特性で名張市の人口もこれだけ減ってくるわけですので、現状どうしようと言っていたらバスに乗る人も減っていくのが当然で、今の方が倍くらい乗るか、乗っていなかった人が乗るかをしないと現状維持も難しいです。私はもともと貸切バス、観光バス事業をしていましたので、しかも三重県へ観光客を誘致していました。私たちの時代はバブルでしたのでどんどん観光客が入ってくる時代に誘致課で仕事をしていました。名張市のバスは何もしなくても減っていくので、やはり観光客を取り入れていかないとせめて現状維持かプラスにしていこうと思うと、このアンケートを全体的に見ていたのですが、中でもがいてどうしよう、利用者も減っていくし費用はかかるし人口も減っていく、と名張の中でもがいているような気がします。ではそれをどうしたらいいのかということを見直しということであれば、外からどうやって人を名張の方へ来ていただいて近鉄で降りて名張のバスをどうやって使ってもらおうかというのをもう少し、この地域公共交通は、京都に行けば皆さん京都のバスに乗りますし、東京に行けば東京の公共交通に乗りますので、観光客は公共交通を利用する方だと思いますので、そういった構築をプラスしていかないと中でもがいているだけかなと思います。アンケートは取っているものの、〇〇地域さんは減ってきました、高齢化ですというより、例えば赤目地域は高齢化していますが、赤目四十八滝といういい観光地がありますので、連携しながらバスを構築して近鉄電車で名張市をPRしていくというのを足していかないと、もがいているだけかなと思います。私はこのアンケートを見て、細かく取っていただいています、やはり観光客をうまく名張市へ、名張駅、桔梗が丘駅などで降りていただいてバスに乗ってどこかへ行くということを付け加えた方がいいと思います。それで、先日も新しい三重県知事が国交省から戻ってこられましたが、山あり海ありでおいしいものもあるのにうまくPRができてなくて、みんな点-in-しているのをそれを見知事は繋げていこうということをおっしゃっている、私も観光業をしておりましたが、名張市だけでなく伊賀市の忍者も有名ですので、近隣市町とも連携を取りながらうまく観光事業プラス公共交通を使ってもらおう観光ルートを構築していくのもこの数字が落ちていくのにあたふたしているよりは、こういったものを作るのも大事かなと思います。

部会長 おっしゃる通りで、どこの地域もそうですが、路線バス等の公共交通の利用者数は減っていくのは分かっていることなので、昨年度もある地域の計画を立案しましたが、現状維持がいったいいっぱいだろうというのがおおよその意見で、ただ目標の中に現状維持でいいのかという議論はさせていただいたのですが、現状維持というのは今までの経済成長の中では否定的な感じがしますが、今の人口減少が進んでいる中では現状維持というのはかなり高い目標でして、そのあたりも計画立案の際にはしっかり考えないといけないところかなと思います。何か事務局の方でありますか。

事務局 特に、今おっしゃるようにアンケートの結果であれば現状維持というものに対してどうしていくかというところが見え隠れしているのかなというところですが、委員さんにご意見をいただいた通りですが、もっと別の方法、公共交通の市民の足としての移動手段というものとして現状維持をしていかなければいけません、それ以外の分も取り込んだかたちというのも考え方として大事なのかなと思いますので、その辺の部分は検討させていただきたいと思います。

委員 市民の足を現状維持するためにも外から来た人にもぜひコミバス、近鉄、三重交通などを使ってもらい別の収入にしていけないと費用負担が増減したりやめますかという話になってしまうと思います。私が名張の駅で降りた時、降りてからバス停に来ると赤目四十八滝のように観光案内が名張のロータリー側を向いています。普通、外から来て伊勢神宮に行ったり大阪に帰ったりする時に近鉄で名張駅に停まって見るのは、ロータリー側ではなく、ホームから見る看板を見て名張には何があるんだろう、江戸川乱歩のところがあるのか、ただの殺風景な駅で今度来た時にここで降りようかという駅にしていって、ロータリー側にフェンスがありますが、その先の赤目四十八滝の看板が市内の方を向いています。ああいったところで江戸川乱歩生誕の地など観光地のいい PR になるとと思いますが、皆さん駅に着くときよろきよろきすると思いますので、今度は伊勢神宮の帰りに降りて寄ってみようか、となった時、名張の観光マップなどに路線図が充実したものでないどこに行っているかわからないですし、赤目四十八滝に行きたいけどどうしたらいいのということになるとと思いますので、そこでバスを使ってもらう。本数が増えれば名張市民の方も便利になるわけですね。今2本しかないのが4本になればもっと市民の方にとってもいいので、そういった収入確保を考えてもらえればと思います。

部会長 他の地域ですと、例えばイベントにも使ってもらったり、観光に限らず、例えばよく学会なんかでもわざとバスを使うように案内はバスのみでしたり、タクシーと分担してやりイベントが結構何千何万人規模のものは難しいかもしれませんが、何かがある時に使ってもらえるような PR をするというのもぜひとも計画の中に入れていただいて、ひよっとすると観光需要も見込んだかたちで何かしらの意義があるかなと思います。

委員 伊勢のサンアリーナですとコンサートがあるとかかなり名古屋や大阪から人が移動してきます。市民の方に頑張って乗ってくださいといっても限界があると思うので、外から来た方に利用していただく方法もプラスしていくべきかなと思います。

委員 例えば伊賀市ではコミュニティバスのルートが平日と休日では違うルートにしてあって、休日は観光地を中心に回るルートになっています。どのくらいの人が利用しているかはわかりませんが、名張の中でも今はナッキー号は土日祝は運行していませんが、そういう時に観光地を中心に回るルートを運行するという工夫もできると思います。

事務局 今おっしゃっていただいたコミバス、特にナッキー号は市内循環型で平日走らせています。目的として、休日は基本的にコミュニティバスより各家庭の車という部分で、今コミュニティバスが財源の関係もありますのでそういう使い方しかできていないというところで、ナッキー号の利用方法についてもある一定考えていかなければいけない時期に来ているのかなと思いますので、意見を参考にさせていただきたいと思います。

- 委 員 それと観光にこだわってしまうのですが、例えば伊賀の忍者屋敷などでも行く術がなかなかないです。遠くの人で車がない人にとって伊賀はどうやって行くのかわからない、高速バスなどがありますが、それを名張市で降りてもらって名張市も観光しつつ、伊賀の忍者屋敷に行って帰ってくるといった、隣の市町とはいえお互い様ですので、伊賀を観光して名張のぶどう狩りなどおいしいものを食べてもらってまた名張駅や桔梗が丘駅などから帰ってもらおうといった、ホームページでもいいですが、こういう観光も計画できるんだよと、なかなか伊賀の忍者屋敷は車で行きにくいですね。
- 部会長 観光についてもこの前一見知事が色んな発言をされていたのを聞いていましたが、なかなか他の市町との連携がうまくいかない、うまくいこうとしていないのか、わが町を先に考えてしまうので、連携がうまくいかないところがあります。
- 委 員 知事は東京で仕事をしていらしたのでいいものが点在しているのはご存知ですが、それを三重県としてうまく発信できていないし、うまく PR ができていないのでこれから点検していこうとおっしゃっているので、そういう意味では公共交通にもつなげ PR してもらえたら。
- 部会長 うまくいってくれればいいですが、よくあるパターンですが、県主導でやって、そこに参加する市町が我々の意見とは違うとなった時、県がこうしなさいとなるので、反発してしまい結局うまくいかないということになるので、県がどういう風な考えか僕は知らないですが、うまく連携を取るのであればそれなりの考えを持ってやらないと今までのやり方だと絶対うまくいきません。本当は観光もいろんなところと連携してやればいいのにとおそろくいろんな方が思っていると思います。
- 委 員 自家用車の観光は「点」で、それを「線」にしようと思うとやはり公共交通でつながっていないと、と思います。
- 部会長 国に言うと頭の中は MaaS ばかりなので、MaaS なんてうまくいかないと言われているのに MaaS ばかり言っているので国に言っても仕方ないのかなというところでして、MaaS も悪くはないのですが、小さい市町で MaaS と言っている場合ではないと思います。するとしてもまずは名張市としていい観光地にするためにこうしていく必要があればいいと思います。それをうまくほかの地域と連携して、連携するには相手の市にも利益がないとできないので、お互い利益になるような連携ができればいいと思います。
- 委 員 本当にうまくつながっていけば全部名張の駅で泊まって次の日は伊賀市に行こうかなど今のままでは素通りになっていますので、伊勢神宮に行く関西の方は絶対に名張市を通るわけですので、降りていただいてというのを何とか提案できたらと思います。
- 委 員 同じような経験なんですけど、娘の友達の留学生の子が泊まりに来た時に、忍者ファンで忍者屋敷には連れていけましたが、彼にしたら、伊賀忍者はわかったから、甲賀忍者の里に行きたいと言われました。私たちにしたら区切ってしまっていて、外国人からしたら近いのにどうしてすぐ行けないのと言われたことがありまして、ちょっと勉強不足だったなと思ひまして。
- 委 員 やっぱ、乗用車なら簡単なんですけど、公共交通を使ってもらうにはある程度の線を提示していないと、結局はあきらめてしまいます。

- 委 員 PR で違う市同士でいいところを出してもらって繋げてもらったら利用者としては便利だと思います。
- 委 員 伊勢という大きな観光地が行き先にはありますので、伊勢の方で1泊しても次の日はどこに行こうとなって、そういえば名張市はおいしいものがあるし、紅葉もあるしということも考えられますし、伊賀の忍者を見にいったりしてもらえたらいいと思います。伊賀神戸駅にはぽつんと忍者の看板がありますが、あそこの駅で降りてどうするとは書いていません。
- 部会長 観光との連携は考えなければいけないのかなと思いますが、調整などもあり難しいところですね。
- 委 員 市の方の横のつながりも大事だと思います。事業推進部会の方に観光の方が入られるというのが、ほかにあるかはわかりませんが、人口減少の中福祉と住民だけで公共交通を維持するのはどうかと思います。
- 部会長 今まで観光、観光とはあまり聞かないですね。
- 事務局 今、集客するということで、一部ではアピールが足りないというところもあるかもしれません。ある一定赤目滝や香落溪は集客力がありますので、その辺連携していく必要もあるかなと思います。
- 委 員 赤目滝のへこきまんじゅう、津市の百貨店などですごい行列なんですよ。
- 委 員 市内のスーパーでも売っていますが、市外の方が人気みたいです。週で区切って県内を回っているみたいです。
- 観光のことでおっしゃっていただいています、コロナ禍で観光客は減っていますが、名張市の赤目滝は自然なところなもので、結構関西から大勢見えられて、入込客数は多分増えていると思います。今夜に竹あかりと行って去年もやったのですが、ライトアップをされていて秋以降は観光がぱたりと減るのですが、それをやっているのでも去年も増えていますし、今年も引き続き規模を大きくしたので、来られてはいます。しかしそれは何で来るかというと自家用車で来られる方がほとんどです。
- 委 員 昔の写真でバスがずらっと並んでいる写真をよく見ます。
- 委 員 本当の昔はバスで行ってせまい道を行くので一方通行で抜けるような道を作ろうかという計画も昔にあったぐらいでしたが、自家用車利用の方がほとんどになってきたので、行ったことがある方は駐車場がいっぱいあるなど見えていただくとと思いますが、赤目の駅からバスも出ているので、今の時期のハイカーの方はバスをご利用されますし、それでバス路線も何とか残っている状況ですので、おっしゃっていただくように名張駅に降りても赤目口まで行かないとバスでは行けないという状況ですし、看板も確かに外向いているのでそこで降りた人がそれを見ていけるのかという行けないので、おっしゃっていた通りだなと思います。
- 委 員 駅前の看板の管理がどこかはわかりませんが、せっかくの看板が市民の方に向いているので、特急で停まっている間にキョロキョロして今度降りてみようかなと思えるような看板か、経費があるなら季節に合わせた映像やスライドで赤目以外にもおいしいものなどのPR を、隣の市町との連携で、いったんここで降りたら伊賀に行くバスもありますよとい

ったものでもいいので、いったん降りて何か名物を買っていこうかと思うので、地域経済にもいいと思いますし、バスが増えて市民のためにもなると思います。

事務局 今、竹あかりの話がありましたが、去年から大々的にやっていますが、それに合わせて三重交通も夜間臨時バスを運行していただいたりしていましたが、先ほどおっしゃっていたように車でも利用が非常に多くなかなか難しいと増便はしたものの、苦慮されている事实はあります。

委 員 観光も連携していないわけではなくて、特に名張を生活圏にしている奈良県と、東奈良名張ツーリズムというので、曽爾村、御杖村、山添村、宇陀市の室生付近と一緒に観光の取組をやっていて、例えば曽爾高原に行く方は曽爾掛車庫前行き前のバスを三重交通が出していただいていたというのがありますが、ほかの地域にもバスが出ていましたが、今はそれぐらいかなと思います。

事務局 敷津は行っています。

委 員 敷津もありましたか。それもちょっとした観光もあるので曽爾まで行っているのかなと思うので、は大事かなと思います。

委 員 ここで降りて曽爾高原のすすきの景色が見れるというのも、降りないと全く分からないです。秋になれば曽爾高原のすすきの景色が名張駅で下車して何番乗り場でここからバスが出ているとお金がかかるかもしれませんが、スライド等でそういったものを流せば今どきは検索して行くと思います。行きたいなと思える景色を…。

委 員 ちょいちょい貼ってありますが、東西連絡通路という市民の方しか通らないようなところに貼ってあるだけなので、確かに病院の看板のうち1枚でも観光の看板だったら次降りて見ようかなと思うと思います。

委 員 新宿の大画面とは言いませんが、何らかの両サイドにでも入れていただけたらと思います。降りてバスに乗るための誘導なども乗る人を増やすための1つの手段かなと思います。

部会長 そのあたりも計画を作っていく中でそういったことも検討しながらぜひ加えていただけたらと思います。その他ございますか。

委 員 質問ですが、新たな交通手段でデマンド交通の数字が多いから、私もいいなと思っていたのですが、実際に4地域でデマンドが走っているのはどこでしょうか。

事務局 公共交通以外の移動手段として、各まちづくりの協議会が地域の方の高齢の方などを対象にしています。資料の中で、デマンドで運行いただいているのが…。

委 員 移動支援として7地区〇が付いていると思いますが、これはデマンド型と言いつつ、高齢の方の外出の支援ですので、自分でバスに乗っていくのが困難という方が原則対象ですが、名張地区、川西・梅が丘地区、赤目地区、桔梗が丘地区が地域で有償ボランティアの団体を作られて、そういった外出支援をされています。

委 員 地域で作られたものですか。市はあまり関与していないですか。

委 員 市は支援といいますか、福祉の部局から補助金が出ています。

委 員 それはタクシーを使うのですか。

委 員 地域の方が、道路交通法上の移動手段ではなく、外出を支援する車両として車を用意されています。

- 委員 普通の乗用車ですか。
- 委員 そうです。
- 委員 それ専用に予約をするということですか。
- 委員 そうですね。週に2回くらい、事務所があってそこに電話していただいて予約をしたりしてご利用いただいているというものです。
- 委員 使う立場としたらそれはすごくいいですね。毎日コミュニティバスに乗らないので、1週間に1回の買物か1か月に1回の病院でいいので、それが予約で走ってもらえたら、未来的には私は希望を持ちます。
- 委員 ただ、公共交通とは言えないもので、例えば桔梗が丘地区などでも高齢化が進んでいて、自分たちが将来高齢化した時にこんなものがあるよね、というので何回もアンケートを地域で取ってもらって、そんな中で外出支援だけでなく生活支援、庭の草引きや家の中の片づけなどと合わせて、この取り組みをしていただいています。
- 委員 そしたら、コミュニティバスはそうやって集客を増やすような努力をしながらこういうデマンドも発展させていってもらったら助かります。
- 委員 これは市でやってというより、地域が自分たちで課題だと思ってきて、本当にありがたいことですが、デマンド型の運行は4地区で、バスみたいに運行している地域が3地区生活支援も入れると11の地域が取り組みをしています。そのうちの7地区が車を活用してやっていただいています。ただ、許可を取ったり福祉有償運送のように運行しているものではないので、助け合いの地域の取組ということです。
- 事務局 あくまでも互助の部分になります。
- 委員 だからいったん皆さん会員になって毎年会費を払います。ボランティアをする方も提供を受けられる方も会員になって相互に助け合いでやっていただいています。
- 委員 そうしたら地区でそういうのをしてほしいとなったら、自治会で言うのですか。
- 委員 多分機運が高まっているところがされています。多分全国的にもこんなにたくさんやっているところは少なく、よくほかの市町村が視察に来られます。
- 委員 ありがとうございます。
- 部会長 実は公共交通の観点から見ると、あまり大きな声で移動支援のことは言えません。ちょっとグレーな部分があり、本当は公共交通でデマンド型というとタクシーがありますので、タクシー交通を守っていかないといけない立場にあります。あくまで、皆さまの助け合いでやっていただいています。
- 委員 そうなんですか。それとこのタクシー運賃の割引制度というのも知らなかったのですが。
- 事務局 こちらは、資料の精査ができておらず申し訳ないのですが、コンサルの方で整理をしていただいた中で、名張市内で運行のタクシー会社が実際にしているかどうかは確認が取れておりません。
- 委員 これはただの企画ということですね。
- 委員 テレビで見ましたが、トゥクトゥクで輸送しているところもありますね。4人乗りぐらいで。
- 委員 若い方が運転しているとか。

委員 皆ご近所の人と手を振りながら乗れて楽しいと言っていました。狭い道でも行けますね。

部会長 先ほど出たようにデマンドで地域で考える場合には皆さんその気になればデマンドで公共交通として走らせることは十分可能なので、それは各地域で考えてというかたちに名張市ではなっていますので、法律の範囲内で皆さんの合意が得られれば、十分可能ですので、地域の中で絶対そうするべきだという総意でしたら、当然そうしていただくのは問題ないと思います。山間の地域でも公共交通を走らせるなら、デマンドをやった方がいいというところもたくさんあります。

委員 効率的ですね。

部会長 ただ、意外に費用がかかりますので、そのあたりとよく比較してというかたちですね。

委員 デマンドであっても、どこかでナッキー号につながり乗り継ぎができれば高齢の方が多いと思いますので、待合所が整備されていて、そこで乗り継ぎができれば利用しやすいと思います。

部会長 その他ございますか。議事の1～3含めて何かあれば。

委員 以前にも出てここにもあったのですが、お試し乗車券やバスの乗継割引は、どの辺まで話が進んでいますか。

事務局 すいません。今止まっておりまして、大変申し訳ありません。事業としてはまだ前に進んではおりません。乗継割引については、仕組みに制約があり、すぐには進められないということもあります。運行事業者がコミュニティバス同士でも違いますし、三重交通を含めるとなるとさらにハードルが高くなります。

委員 乗継割引について、やはりコミュニティバスの運行主体がそれぞれ違うこともあると思いますが、他市のように地域コミュニティバスは地域の大きな負担になっていると思います。将来的にはナッキー号のように市の直営にしていくという考えはありますか。

事務局 今のところは地域コミュニティバスを市で運行するということは考えていません。

委員 ケンコーマイレージポイントをよくナッキー号で利用させてもらっていますが、それはほかのコミュニティバスでも使えるようになりませんか。

事務局 その声もいただいておりますが、今の市の会計の仕組みも含め直ちにそれができない状況にあります。

部会長 利用者から見ると、乗継割引くらいはやってほしいですね。同じコミュニティバスなので、ということもありできそうな気はします。

委員 そうですね。

委員 ナッキー号、中型になってすごく好評です。ゆったり乗れます。

事務局 そうですか。やはり座っている方は増えましたか。おおよその方が座れるようになったのは良かったと思います。ありがとうございます。

委員 乗っていて気づいたのが3～5分で車内の空気が入れ替わっていますというシールがすごく小さいと思います。もっと堂々と書いた方がコロナ禍では効果があると思います。そんなに入れ替わっているのですね。

部会長 その他よろしいでしょうか。時間もかなり経ちまして、皆さん活発な意見を出していただいたのですが、ちょっとボリュームがあると思いますので、持ち帰りいただいてアンケー

ト、計画案についても見ていただき、ご意見がありましたら公共交通会議の場でもいいですし、事務局に連絡いただいても結構ですので、何かご意見があれば積極的におっしゃっていただけたらと思います。最後に何かございますか。よろしいでしょうか。それでは令和3年度第2回の名張市地域公共交通会議事業推進部会を終了とさせていただきます。ありがとうございました。